

## 第30章 地域編⑥：西北地区（陝西省、甘肅省、青海省、寧夏回族自治区、新疆ウイグル自治区）

### 1. 西北地区の地域概要

#### (1) 西北地区の経済的地位

陝西省は金、モリブデン等の鉱物資源や、石炭、天然ガス等の資源に恵まれている。黄河や長江等の水力にも恵まれているため、水力発電量も多い。省都・西安市は古くから「長安」として有名であり、西北地域の玄関口として、産業や人材が集中している。また、西安からの鉄道運輸で欧州向けの輸出もある。

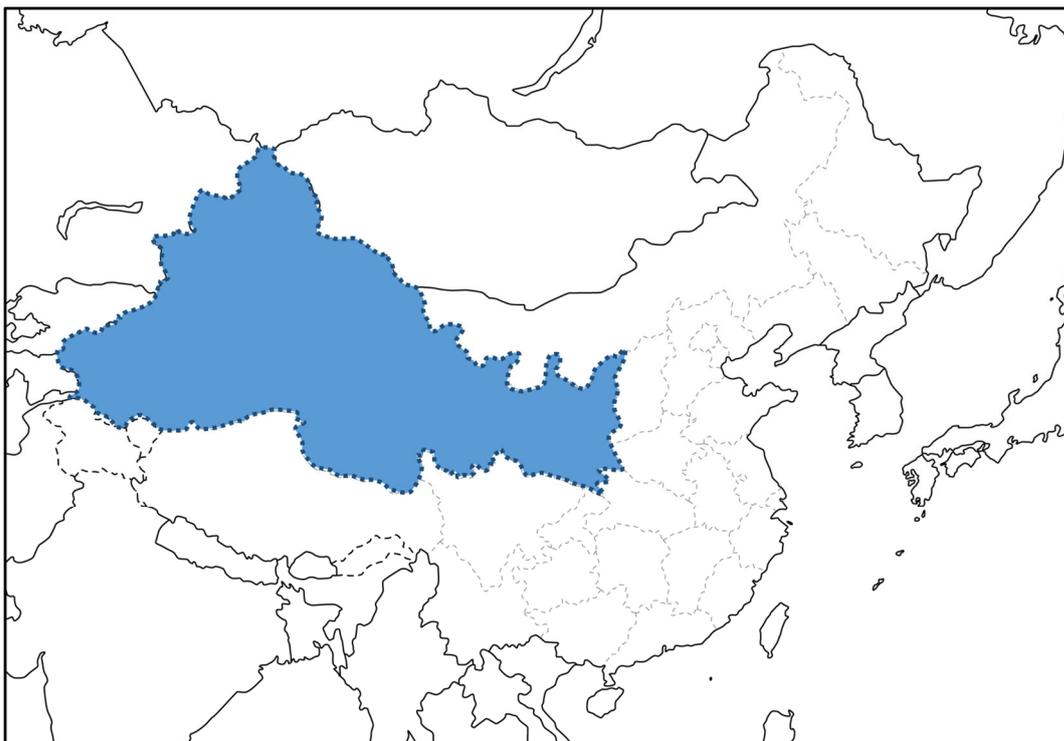
甘肅省はクロム、亜鉛、バナジウム等の豊富な資源に恵まれており、交通・物流ハブとしての地理的優位性がある。また、日照時間が長いこと、太陽光発電にも優位性がある。

青海省は天然ガス、鉛の埋蔵量が多い。黄河流域では豊富な水資源を利用した水力発電所や、長い日照時間を利用した太陽光発電のため、電気、水、ガスのコストが安い。また、カシミヤの原料であるカシミヤ山羊等の畜産業も盛んなため、紡績原料も豊富である。青蔵鉄道の起点であり、中国国内でチベットに行く際の玄関口としてもある。

寧夏回族自治区はイスラム教の少数民族（回族）が多く人口の3分の1を占め、少数民族の割合も高い。内陸部ではあるが、黄河の灌漑を利用して、クコ、ワイン用ブドウ、スイカ等の農業生産が行われている。石炭やケイ素の資源があり、主に発電用に使われている。また、太陽光発電等、再生エネルギーによる発電量が多く、全体の5分の1を占めている。発電量の半分を華北、華東に送電するための送電網が整備されている。

新疆ウイグル自治区は石油・天然ガス等の資源に恵まれている。ロシア、モンゴル、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、アフガニスタン、パキスタン、インドの8つの国と国境を接しており、地理的な優位性がある。特に、中国と中央アジアとの貿易は新疆ウイグル自治区を介して行っており、近年話題の中欧列車も同じく経由しているため、中継貿易地として重要な地位を確立している。

図表 30-1 西北地区



(2) 西北地区の特色

図表 30-2 西北地区に進出した場合のメリットと留意点

メリット	留意点
<p><b>【西安経済技術開発区】</b> 1993年成立以来、日立、ポッシュ、サイメンス、ゼネラル・モーターズ等のフォーチュン・グローバル500の企業を多数誘致し、自動車関連産業、材料科学、再生エネルギー等の分野を強化している。また、同じく西安市の「ハイテク区」では生物医薬、新材料、新エネルギーの研究開発などを支援している。</p>	<p>業界をリードする企業を対象に、進出条件の緩和のほかにも、政府が資金調達支援等インベストメントバンキングの機能も担うが、特化した技術力がない中小企業は対象にならず、支援策等は享受できない。</p>
<p><b>【蘭州経済技術開発区】</b> 「蘭州経済技術開発区」は大企業が誘致されており、大学等30以上の教育機関・研究所があり、多くの科学技術人材を擁する。航空宇宙産業、精密加工、新エネルギー、新素材、旅行、非鉄金属冶金、石炭工業等が主要産業となっている。労働力が低廉であり、電気、ガス、水道もコストが安い。</p>	<p>沿岸地域と比較すると、物流コスト・輸送時間の面では劣る。</p>
<p><b>【青海省】</b> 青海省は人件費、電力、水、ガスのコストが安い。「国家蘭州・西寧重点開発区域」では、新エネルギー、水力発電、石油化学、非鉄金属、農・畜産物加工、新素材、バイオ・医薬産業の発展を目指している。</p>	<p>市場規模が限定的で、沿岸部から遠いため物流面で課題がある。国家級生体保護区があるため、環境保護に注意が必要である。</p>

メリット	留意点
<b>【新疆ウイグル自治区】</b> 新疆ウイグル自治区では人件費が安く、従業員の定着率も良い。	人口が相対的に少なく、広大な面積の中に都市が点在しているため、市場開拓が困難である。また、他の地域と相対的に経済格差が大きい。

### (3) 進出日系企業からみた事業・生活環境やコスト

#### ① インフラ・物流

##### 【道路】

高速道路は蘭州市～西寧市（青海省）、蘭州市～銀川市（寧夏回族自治区）、西安市～蘭州市、西安市～銀川市、蘭州市～ウルムチ市（新疆ウイグル自治区）等、主要都市間の高速道路が開通している。また、北京から内モンゴル自治区経由でウルムチ市に行く高速道路が 2017 年に建設され、ウルムチ市からアルタイ地区、カシュガル市、阿拉山口市等の国境線に近い都市まで続く高速道路が建設されている。

鉄道に関しては、青蔵鉄道がチベットに行く唯一の鉄道として西寧市が起点となる他、蘭州市や西寧市から広州まで続く鉄道がある。一方、西安市から蘭州市、西安市経由でウルムチ市、さらに国境線にある阿拉山口市まで続く鉄道が、中央アジア経由で欧州まで続いており、一帯一路の重要線路として利用されている。

##### 【空港】

このエリアには、西安空港、威陽空港、蘭州中川空港、銀川河東空港、ウルムチ空港がある。蘭州中川空港は蘭州市中心から北に 67km 離れているため、以前は市中心部から空港バスで 1～2 時間程度かかっていたが、2015 年に完成した蘭州中川空港鉄道により、蘭州駅から 45 分・蘭州西駅から 30 分程度で空港へアクセス可能となった。また、ウルムチ空港には北京、上海だけでなく、各省の主要都市までの路線があり、新疆ウイグル自治区内の主要都市にも空路でつながっている。新疆ウイグル自治区の面積が大きく、空路での移動が多いため、ウルムチ空港は中国八大空港として、西北地域で最も混雑している空港の一つともされている。なお、ウルムチ空港は市内までは 16km 離れているため、アクセスは便利である。

##### 【電力】

陝西省は黄河や長江等の水力にも恵まれているため、水力発電量も多い。また、寧夏回族自治区、甘肅省、新疆ウイグル自治区は太陽光発電が多く、寧夏の発電量には太陽光発電が 5 分の 1 を超えている。

##### 【通信】

2022 年 4 月 19 日には中国全域の県レベル（中国語での「県級」）以上の市の都市部では 5G をカバーしている。砂漠や無人区では圏外になることが多いが、工業団地等整備されている区画では通信のインフラが整備されている。

### 【不動産】

沿岸部や中部地域と比較して安価となるが、西北地域の中でも格差が大きい。西安市や蘭州市は中部地域の主要都市と大差がないが、西寧市やウルムチ市はさらに安くなる。甘肅省、寧夏回族自治区、青海省でビジネス開発の際に、黄河保護法や青蔵高原保護法等の法律にも注意する必要がある。

### 【水】

青海省は黄河や長江の源であり、甘肅省にも黄河と長江が流れている。陝西省は黄河と長江が流れていないが、主要支流である嘉陵江、漢江、渭河等の源であり、水資源にも恵まれている。一方、新疆ウイグル自治区は砂漠地帯が多いため、水資源の確保が重要である。

## ②労働事情

### 【人材】

特に日系企業の統計データはない。一方、西北地域の各省では沿岸部への人材流出防止のため、誘致策を導入しているケースが多く、例えば、西安市では「西安人材サービス銀行」等、高度人材に対して融資優遇制度を設けられている。

### 【賃金】

2023年10月時点の各省主要都市における最低賃金は陝西省 2,160 元、寧夏回族自治区 1,950 元、青海省 1,880 元、甘肅省 1,820 元、新疆ウイグル自治区 1,900 元である。

## ③生活環境

### 【気候】

陝西省の西安は、夏は25℃から30℃程度、冬は氷点下にまで下がり、大陸気候で乾燥している。春先の黄砂の砂埃は多い。新疆のウルムチの夏は20℃以上で湿度が低い日差しは強く、冬は-15℃程度まで気温が下がる。また、新疆ウイグル自治区等の砂漠地帯では、昼夜の寒暖差が激しく、甘肅省のゴビ砂漠地帯を含めて砂嵐が発生する場合もある。

### 【教育】

陝西省は教育レベルが高く、高等教育の在校生は100万人を超え、人口10万人あたりでは全国3位である。著名大学としては陝西省西安の西安交通大学、西北工業大学西北大学や甘肅省の蘭州大学、ウルムチの新疆大学、新疆ウイグル自治区石河子市の石河子大学等がある。

### 【医療】

西安では人民医院や西安医科大学付属病院がある。ウルムチでは第三医院や新疆医科大学付属病院等がある。

**【住居】**

西安市では曲江區や高新區に駐在員用のアパートが多い。例えば高新區では 81m<sup>2</sup> の駅近 2LDK は月家賃 2,200 人民元のものがある。

**【日本食】**

西安市では西安市内の東二環路内周辺にある。

**【金融】**

現時点では日本の銀行の支店の設置は確認されていない。